



検査情報月報8月号 ▶ 概要版 ◀

▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、検査情報月報を発行しています。



衛生研究所のInstagram
フォローお願いします！

2026年8月発行

横浜市における 2025/2026 シーズンのインフルエンザウイルス流行株の解析

- ▶ 2025/2026シーズンのインフルエンザの流行は2025年第39週に流行開始となり、前半は**AH3亜型ウイルス**、後半は**B型ウイルス(ビクトリア系統)**が優勢となる**二峰性の流行**を示しました。▶ ARI定点でのウイルス調査では、**AH3亜型ウイルス179件(50.0%)**及び**B型ウイルス(ビクトリア系統)177件(49.4%)**が分離・検出され、**ほぼ同程度の割合**を占めました。▶ 集団かぜ調査では、**20集団中18集団**で**AH3亜型ウイルス**が分離・検出され、その**約9割**が**HAサブグレードK(=J.2.4.1)**に分類されました。
- ▶ 抗インフルエンザ薬耐性株サーベイランスでは、解析株においてキャップ依存性エンドヌクレアーゼ阻害薬の耐性変異及びノイラミニダーゼ阻害薬の耐性変異は**認められません**でした。

食品中の動物用医薬品検査結果（令和8年4月～6月）

- ▶ 動物用医薬品は動物における疾病の治療及び予防、並びに発育促進を目的として使用されています。畜水産食品中に残留する動物用医薬品が人の健康に害を及ぼすことのないよう、消費者庁は残留基準を設定しています。

- ▶ 畜産物の筋肉及び魚介類など計22検体を検査しました。その結果、**すべて不検出**でした。

農産物の残留農薬検査結果（令和8年5月～6月）

- ▶ 食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、消費者庁は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物に残留する農薬の検査を行っています。
- ▶ 市内産農産物の11種類、27検体の検査を行った結果、きゅうり、こまつな、トマト及びレタス各1検体から**延べ5項目の農薬**が検出されましたが、**残留農薬の規格基準値を超えるものではありません**でした。

簡易専用水道及び小規模受水槽水道の水質事故の検査結果（令和6年度・令和7年度）

- ▶ 令和6年度、令和7年度に保健所から依頼を受けて検査した「簡易専用水道」と「小規模受水槽水道」の水質事故(3施設4事例)を報告します。
- ▶ 事例1、2 「**受水槽**の水面に**白い粒状の物**が浮遊している。」との連絡を受け、共同住宅(12階建)の受水槽等の検査を行いました。事例1では受水槽No.2から**合成ゴム(EPDM)**と**スケールや金属を含む有機物**が検出され、事例2では、受水槽No.1から**ケイ酸アルミニウムを含むポリエチレン系高分子化合物**が検出されました。▶ 事例3 「受水槽内(2槽式中1槽(No.1))に**黒色の浮遊物**が点在している」との連絡を受け、共同住宅(5階建)の受水槽の検査を行いました。受水槽No.1から検出された黒色異物は**合成ゴム(EPDM)**と推定しました。▶ 事例4 「給水末端から残留塩素が0.06mg/Lしか出ていない。」との連絡を受け、店舗・共同住宅(4階建)の受水槽等の検査を行いました。瞬間湯沸かし器内部に**滞留した水が逆流**することで**残留塩素が検出されなかった事例**でした。